



ふじみだい

相手がいるから・・・

校長 山本 加奈代

9月22日（日）に地域のみなさんと一緒に富士見台公園掃除に参加しました。台風の影響で地面に転がる落ち葉や枝木がいつもより量が多く、あっという間に袋がいっぱいになりました。子どもたちのころ、落ち葉の山をつくって飛び乗ったり、両手いっぱいを持ち上げて一斉に手から離して遊んだりしたことを思い出しました。思う存分体を使って遊んだ経験は、いつまでも覚えているものです。自然や食べ物、服装など、様々な場面で秋を感じる季節を迎えています。

学校では、前期のまとめの時期になりました。4月に入学した1年生が、お世話になった6年生の教室に行き、国語「大きなかぶ」の寸劇を発表していました。一人ひとりが自分の役になりきって表現する姿に、6年生のどの学級からも大きな拍手が聞こえてきました。教室に戻ってきた1年生は、6年生に喜んでもらえたという自信と喜びで満面の笑みを浮かべていました。身につけていたお面を、いつまでもその余韻に浸るかのように大切にかぶっていたそうです。

学習の中では、相手意識ということが、とても大事にされています。相手の知りたいことを調べて伝えたい、自分の思いを相手に発信して分かってもらいたい。このように、相手がいるからこそ、どうやったら理解してもらえるのかと試行錯誤するのです。10月に行われる「ボイス・オブ・富士見台☆岩井町原」も子どもたちの意見発表の場になります。子どもたちがどんな考えや思いを伝えてくれるのか、今から楽しみです。それぞれの思いをしっかりと受け止めて、さらに子どもたちに返していきたいです。

先日、警察や区役所、NPO 法人のご協力で、3年生、4年生、5年生、6年生の防犯教室が行われました。3年生は非行防止、4、5年生はインターネット、6年生は薬物乱用防止について学習しました。最近、全国的にSNSのトラブルが小学生の中でも起きています。気軽な気持ちで、きっと大丈夫だろうと思ってやったことが、実は恐ろしいことにつながっていたという事件もあるようです。SNSは便利な面もありますが、反面、自分や友達を傷つけてしまうことにもなりかねません。周りの大人が見極めてあげることも大切です。また、子どもたち自身が、危険なことにつながることも知っておくことも必要です。この機会に、各家庭においても再度点検をお願い申し上げます。